



2020年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 2020年3月期 第3四半期決算レビュー
- 2020年3月期 第3四半期活動実績
- 2020年3月期 通期業績見通し



2020年3月期 第3四半期決算レビュー

創業来20期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

「第4次産業革命」の中心的な役割を果たす企業となるため、AI・IoT・Robotics分野の研究開発に最大、経常利益がマイナスにならない範囲の積極的投資を実施

(連結経営成績 単位：百万円)

	2019年3月期 第3四半期 実績 (注)	2020年3月期 第3四半期 実績	実績 前年比	2020年3月期 通期予想
売上高	3,611	4,502	24.6%	6,563
営業利益	△532	47	—	1~1,313
経常利益	△524	50	—	1~1,313
純利益	△403	△37	—	0~814

(注) 2019年3月期第3四半期実績は単体決算の実績です。

当初計画より
変更なし

■売上高および利益について

【売上】

・当社の売り上げ構成は、ストック型のライセンス収入とフロー型のカスタマイズ収入に分かれており、その構成比は、大凡、ライセンス収入：カスタマイズ収入＝8：2となっております。

・売上高実績として、前年の単体実績との比較で124%増となっております。これは、IoTプラットフォームサービスを筆頭とした既存サービスにおいてライセンス数を順調に積み上げることが出来ていること、および新サービスの受注数が積み上がり、順調に開発を進めることが出来ている結果となります。

【利益】

・利益実績としては、営業利益47百万円・経常利益50百万円となっております。これは、戦略的に開発投資を実施するという期初からの計画どおりであり、第4四半期も引き続き計画に基づき、研究開発に注力して参ります。

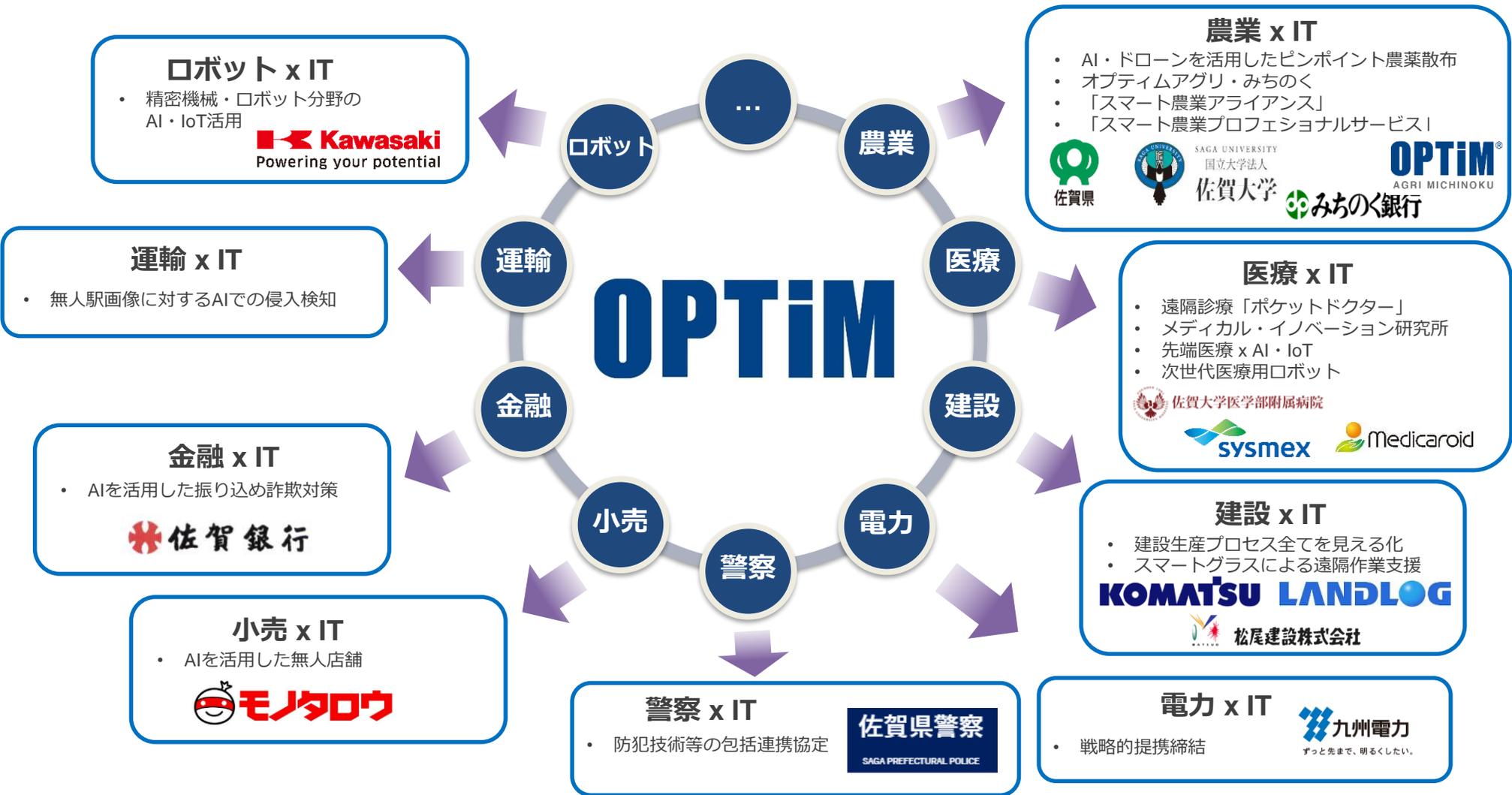
上記のとおり、第3四半期の進捗状況としては、売上・利益ともに計画どおりであり、業績予想への影響は一切ございません。



2020年3月期 第3四半期活動実績

会社概要（これまでの〇〇×ITの具体的な取組み）

AI・IoT・Robotics等の最先端技術を、新たな価値の創造や課題解決を実現するため、
様々な業界や産業と融合させた事業を幅広く展開中

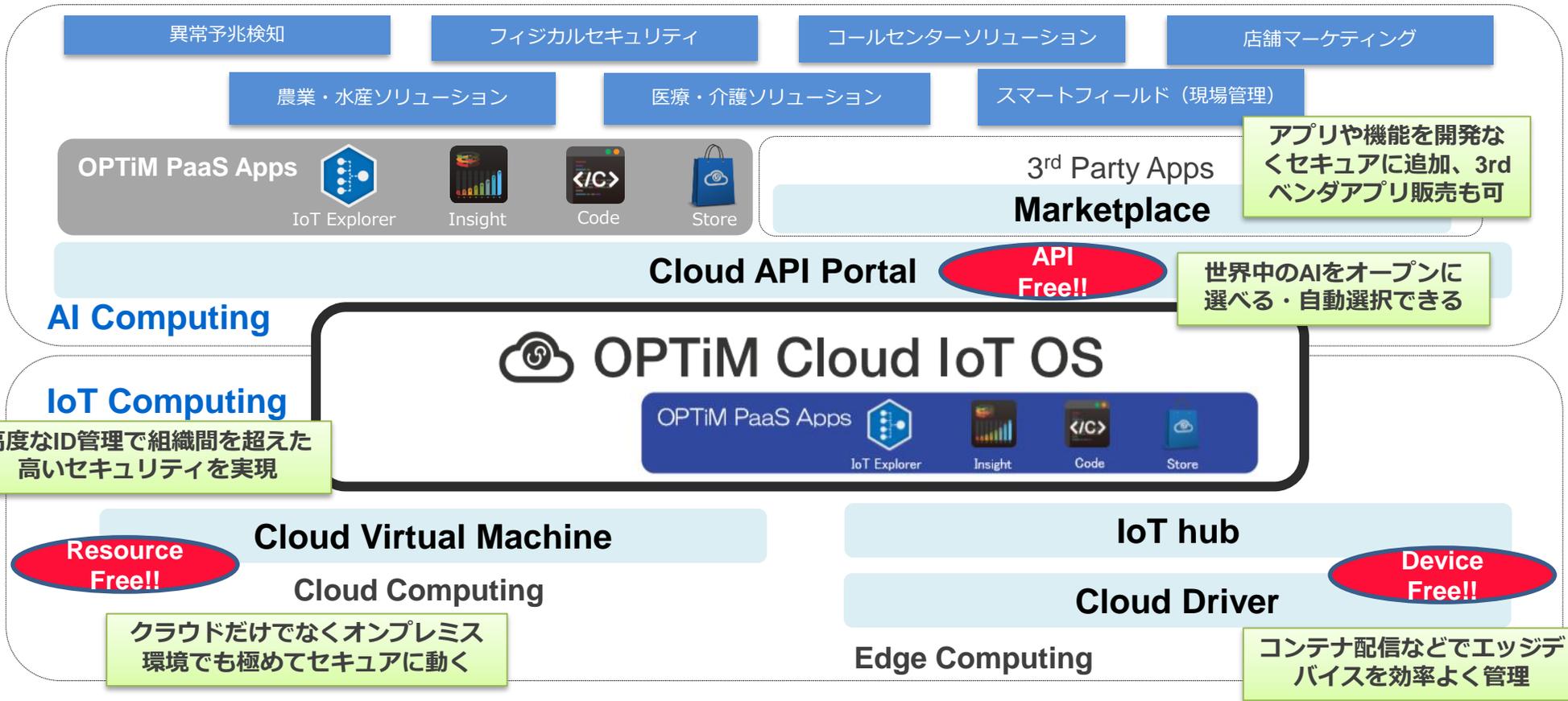




〇〇xITの具体的な取組み（第3四半期以降）

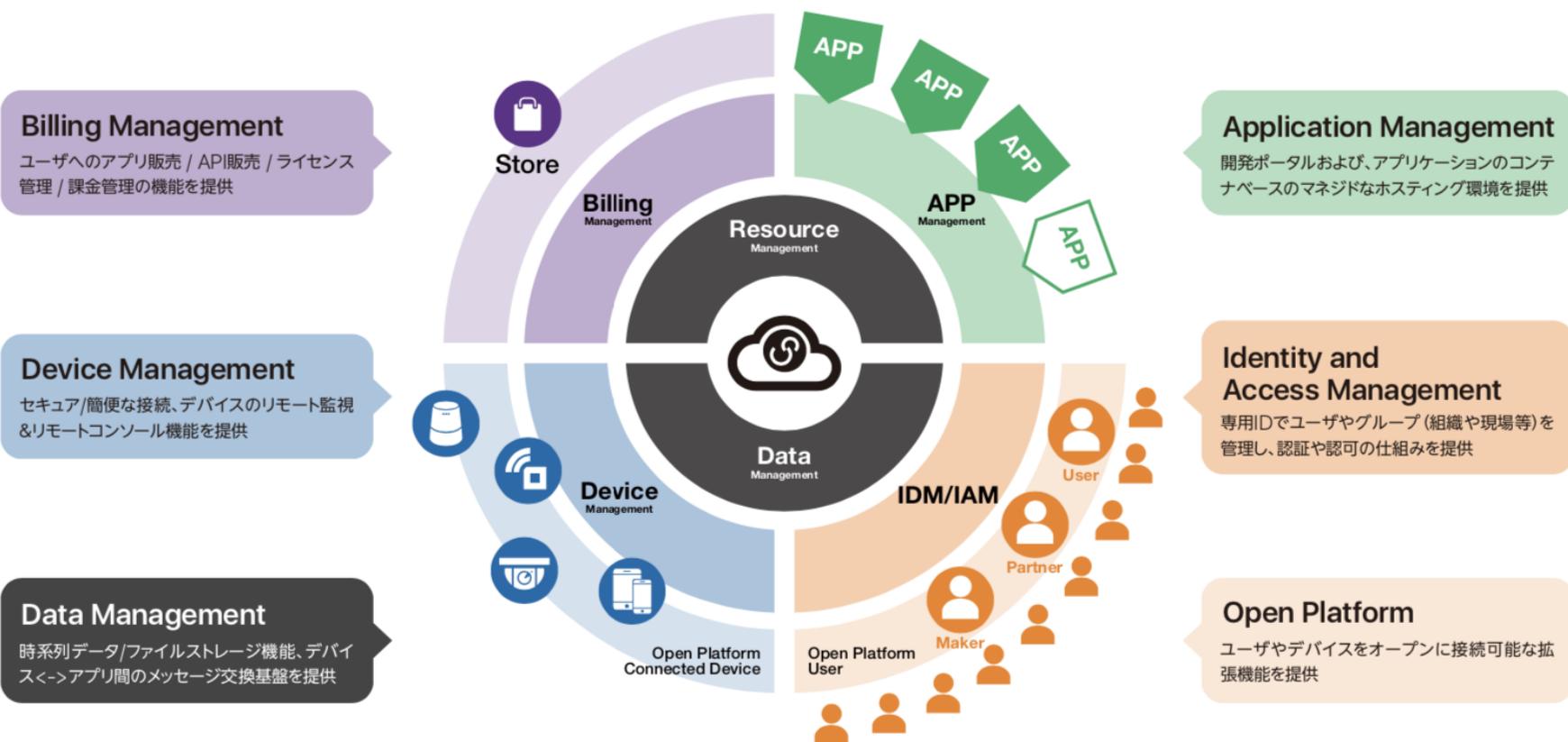
〇〇(業界)	発表時期	内容	提携先
農業	2019/10	AI・IoT・ドローンを活用した スマート農業分野での協業 を発表	エンルート
	2019/10	スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する「 スマート農業プロフェッショナルサービス 」開始	
	2019/11	ピンポイント農薬散布テクノロジー の特許、九州地方発明表彰の「 文部科学大臣賞 」を受賞	
	2019/11	ベトナム国営最大手通信グループVNPTと、AIサービスおよび スマート農業分野 において 業務提携	VNPT
	2019/11	AIやドローンを使い、農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「 スマート米2020 」、 2019年度産新米の販売を開始	
医療	2019/11	次世代の医療・診断を支えるデジタル医療の事業化加速を目的に 合併会社設立に向け基本合意	シスメックス
	2019/11	次世代医療用ロボット に関連する業務において 業務提携	メディカロイド
建設	2020/1	遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」のOEMサービス「Generation-Eye (G-eye)」、国土交通省の新技术情報提供システム NETISに登録	Atos
ロボット	2019/11	精密機械・ロボット分野 のAI・IoT活用における 業務提携	川崎重工業

オープンプラットフォーム「OPTiM Cloud IoT OS」をベースに、様々なベンダーフリーを実現



プラットフォームのためのプラットフォーム

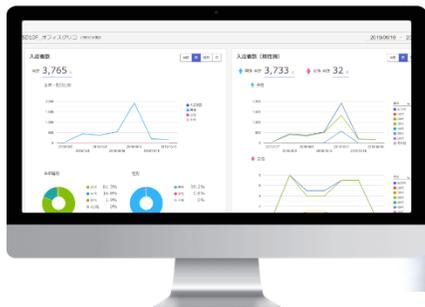
AI・IoTプラットフォームとしてエコシステムを形成するための一連の機能を具備



「OPTiM AI Camera」 新サービスを発表： 「OPTiM AI Camera Lite」 「OPTiM AI Camera Mobile」 「OPTiM AI Creator」

エントリープランとスマホだけで使えるサービスが登場、
お客様によるAIの追加作成も実現

■ 解析結果閲覧イメージ



スマホ・タブレットを使って始められる
AI画像解析サービス



紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/GUy830D4BWM>
https://youtu.be/wV8Ckj_Mel

「OPTiM AI Research」 「OPTiM AI Signage」を発表

AIによる詳細な顧客分析、店頭におけるピンポイントでのマーケティングを実現

■ 「OPTiM AI Research」



小売店舗内に設置されたタブレット・カメラによって画像解析を行い、商品に対するお客様の反響を収集するAIサービス

■ 「OPTiM AI Signage」

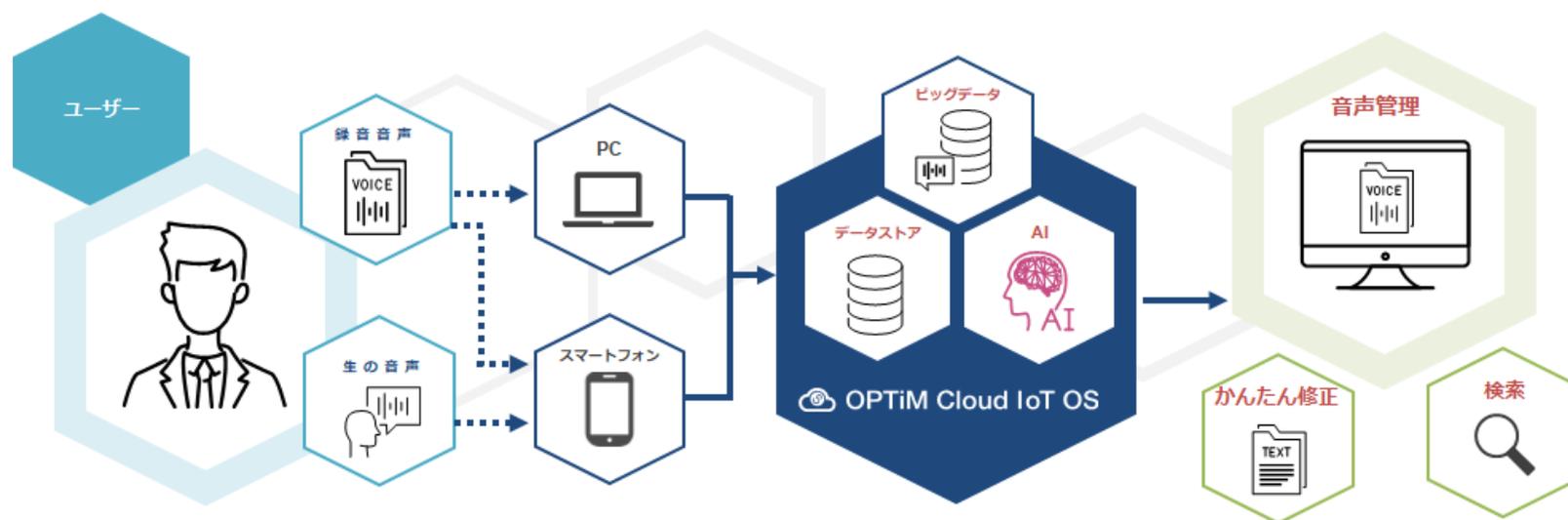


タブレットやデジタルサイネージ端末など、現場に設置された広告媒体に対して、まるでWeb広告のような感覚で広告出稿・運用できるサービス

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/1en2pWrTafw>

AI音声解析サービス 「OPTiM AI Voice Recorder」を発表

「OPTiM AI Voice」を大幅バージョンアップ、月額8,300円から利用可能



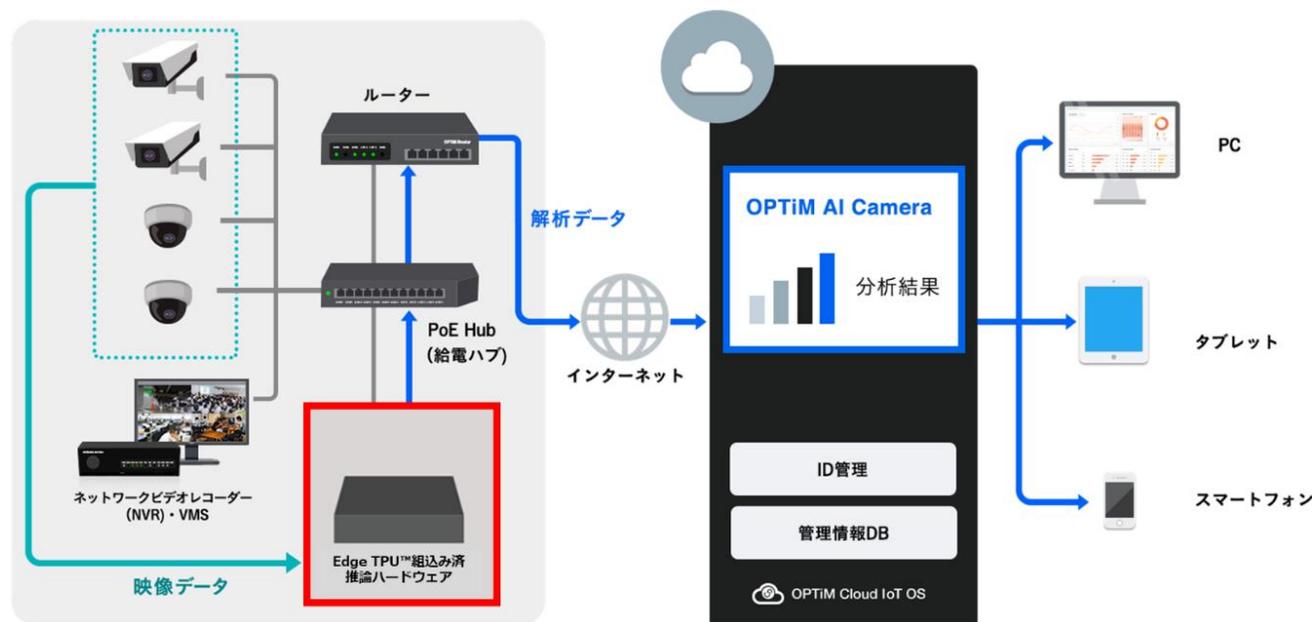
AIによるリアルタイム音声認識・テキスト変換の基本機能はそのまま、「データ保存」「データ検索」の2つの機能を強化。従来のAIを用いた文字起こしによるコスト削減に加え、会議やお客様対応などの場面でまず録音だけを行い、あとから必要な箇所だけを解析・データ化するなど、記録を残す目的でご利用いただくことも可能。

エッジコンピューティングデバイス 「OPTiM Edge」シリーズ、新モデルを発表

高い性能を持つ推論インスタンスを
より低コストに組合せてAIサービスを構築できることが期待



「OPTiM AI Camera」と、Google™が提供する「Edge TPU™」を組み込んだ推論ハードウェアとの接続実証を完了し、エッジコンピューティングデバイス「OPTiM Edge」シリーズの新モデルのプロトタイプバージョンを追加



「OPTiM AI Camera」 ビデオ管理システムとの連携を拡大 ～オプティムの学習済みAIモデルの導入を促進～



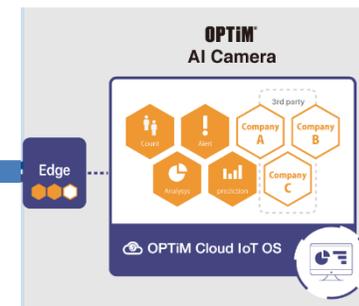
Genetec Security Center : 世界No.1
シェア※1を持つビデオ管理システムと
組み合わせ



Safie : 国内クラウド録画サービスNo.1
シェア※2を持つビデオ管理システムと
組み合わせ



ArgosView : 国内ビデオ管理システム市
場No.1シェア※3を持つ映像監視システム
と組み合わせ



※1 出典：2019年6月、IHS Markit発表調査レポートより
 ※2 出典：株式会社テクノ・システム・リサーチ「2018年ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」、2017年クラウド録画サービスカメラシェア
 ※3 出典：株式会社富士経済発表、「2017、2018 セキュリティ関連市場の将来展望」より

オプティムのAIソリューションが 4部門で市場シェアNo.1を獲得

～ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて ～

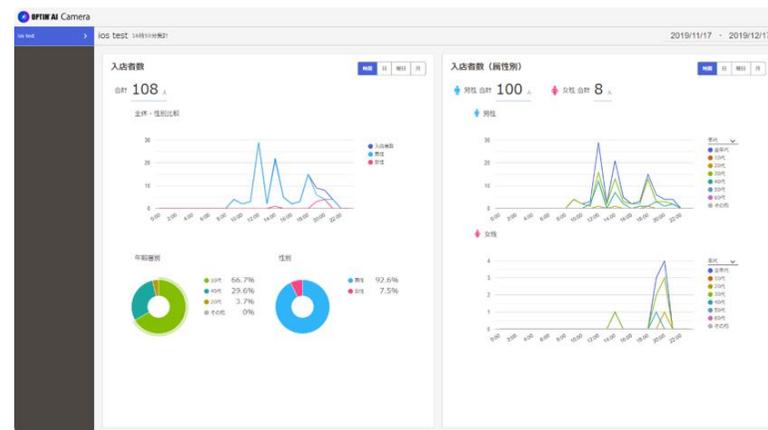
OPTiM® AI Industry



オプティムのAIソリューションが、業種別売上高動向の「農林水産業」・「医療」部門、ユーザー従業員規模別売上高動向の「ユーザー従業員数300名未満の売上動向」部門、測定・観察・探索市場動向の「測定・観察・探索ベンダーシェア」の4部門でシェア1位※1を獲得

※1 出典：ミック経済研究所 2019年9月17日発刊、「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2019年度版】」より

世界初※1、スマホ・タブレットで顧客分析を実現する 画像解析ソリューション 「OPTiM AI Camera Mobile」の提供を開始



「OPTiM AI Camera Mobile」とは、スマートフォンやタブレット端末に専用アプリをインストールして設置するだけで、設置場所の映像を解析できるサービスです。

- 特長
- 必要な機能だけを選んで購入：ご希望の用途に合わせて必要な機能のみをご提供。スモールスタートから始めて徐々に拡大するなど、規模やご予算に合わせてご導入いただけます。
 - 手軽に導入：現在ご利用中のスマホ・タブレット端末にアプリをインストールするだけで、簡単に画像解析ができます。
 - 安価に顧客分析が可能：「OPTiM AI Camera」サービスの画像解析機能の一部を、お持ちのスマートフォン・タブレットで安価にご利用いただくことができます。

※1 出典：2020年1月30日時点、オプティム調べ、Google Play Store上で購入が可能な、Deep Learningによる人物の性年代分析をモバイルCPU処理により実現する画像解析ソリューションとして

オプティムとエンルート、AI・IoT・ドローンを活用した スマート農業分野での協業を発表

∞ 農業 × IT Solutions

OPTiM[®]

ENROUTE

<協業検討内容>

1. ピンポイント農薬散布を実現する圃場(ほじょう)管理サービス「Agri Field Manager(アグリ フィールド マネージャー)」と、農業用大型ドローンを連携させ、自動飛行散布ドローンの開発を目指します。
2. オプティムのAI解析技術やスマート農業ソリューションと、エンルートのロボティクス技術を連携させ、スマート農業を実現するサービス提供を目指します。
3. オプティムとエンルートは2020年3月を目標に、新サービスを販売開始する検討を行います。

スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する 「スマート農業プロフェッショナルサービス」を開始

～スマート農業に必要なあらゆるハードウェア、
ソフトウェア、サービスを一括で提供～



生産法人や大規模企業の課題に対し、スマート農業向けハードウェア、ソフトウェア、サービスと当社の農業領域のノウハウを活かしたコンサルティングサービスをあわせてワンストップで課題解決を目指すサービス

ピンポイント農薬散布テクノロジーの特許、九州地方発明表彰の「文部科学大臣賞」を受賞

特許番号	特許第6326009号
発明の名称	無線航空機、位置情報出力方法及び無線航空機用プログラム
出願日	2015年6月29日
登録日	2018年4月20日



オプティムとVNPT、ベトナムにおける AIサービスおよびスマート農業分野において業務提携

VNPT(Vietnam Posts and Telecommunications Group) :
ベトナム最大※1通信キャリア国営ベトナム郵政通信グループ



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用したベトナムにおけるAIカメラサービス、スマート農業事業の展開を通じて、現地の産業の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献して参ります。

※1 出典：2017年7月7日VNPT調べ、固定ブロードバンド市場において。
<http://www.vnpt.vn/en/News/NewsEvents/View/tabid/219/newsid/46714/seo/VNPT-accounts-for-47-of-the-fixed-broadband-market/Default.aspx>

AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米 「スマート米2020」、2019年度産新米の販売を開始




スマート米2020
 (2019年度産新米)

**とっても体にやさしい
お米できました。**

ドローンで撮影した田んぼの画像をAIにより解析することで、
病害虫の発生箇所を特定し、必要な場所のみピンポイントで
農薬を散布する農法で栽培したお米です。


SMART AGRI FOOD
育てる人も、食べるひと、みんなウレシイ

■「スマート米2020」（2019年度産）取扱品種

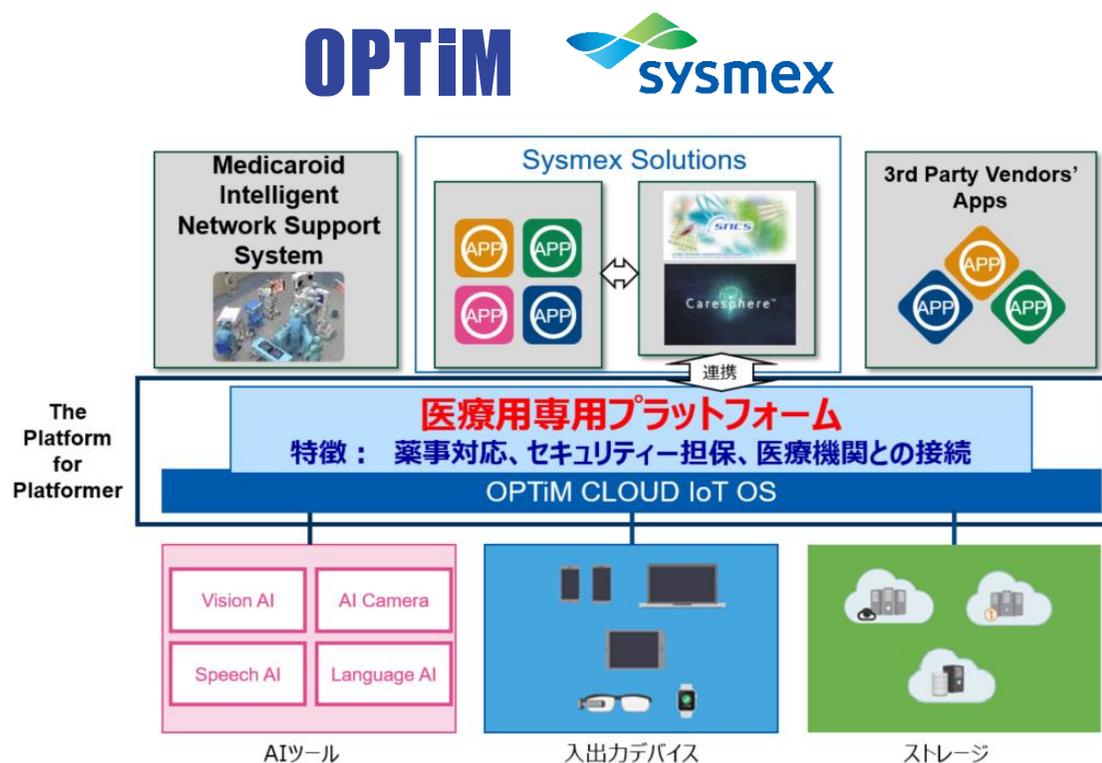
佐賀県産「さがびより」・大分県産「にこまる」・福岡県産、佐賀県産「ヒノヒカリ」

青森県産「まっしぐら」・佐賀県産「夢しずく」（2019年産より新発売）

青森県産「つがるロマン」（2019年産より新発売）・新潟県魚沼産「コシヒカリ」（2019年産より新発売）

オプティムとシスメックス、次世代の医療・診断を支える デジタル医療の事業化加速を目的に合併会社設立に向け基本合意

～デジタル医療に関するプラットフォームとアプリケーション
の早期提供を目指す～



オプティムとメディカロイド、 次世代医療用ロボットに関連する業務において業務提携



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した次世代手術支援ロボットシステムの開発を通じて、理想の医療の実現へ取り組んでまいります。

オプティムと川崎重工、 精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用における業務提携

OPTiM

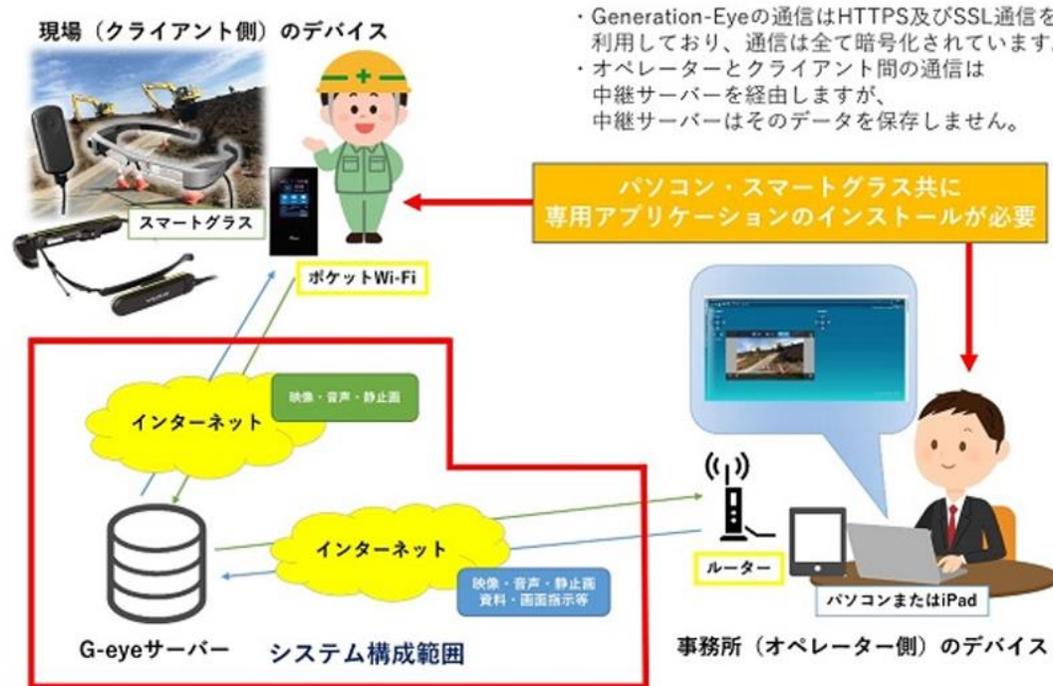
 **Kawasaki**
Powering your potential



両社は、様々な産業での活躍が期待される精密機械・ロボットをネットワークに接続し、得られる情報をAIが解析するプラットフォームを構築することで、精密機械・ロボット分野におけるAI・IoT技術を生かした、新たなビジネスソリューションの早期開発・事業化とグローバル展開を目指します。

遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」の OEMサービス「Generation-Eye (G-eye)」、 国土交通省の新技术情報提供システムNETISに登録

OPTiM *Atos Co., Ltd.*



「Generation-Eye (G-eye)」運用イメージ

複数調査レポートにおいて、シェアNo.1を獲得

ミック経済研究所 : 2018年度国内EMM・MDM市場でシェアNo.1 ※1を獲得

富士キメラ総研 : 4年連続 国内MDM・EMM市場でシェアNo.1 ※2を達成

IDC Japan : 2018年国内エンタープライズモバイルティ管理ソフトウェア市場 売上額実績シェアNo.1 ※3を獲得



Optimal Biz
国内システム/サービス管理ソフトウェア市場シェア、2018年 : SaaSとITオペレーション分析の本格化

国内 EMM ソフトウェア市場
ベンダー別売上額
実績シェア

No.1 を獲得



国内 MDM・EMM 市場

4年^{*}連続シェア

2018年度 ID数 No.1

2018年度 金額 No.1

No.1

※1 2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、
※2 2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、
※3 2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)」、
IDC Japan発表。市場内調査。



Optimal Biz
コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版

2018年度国内 EMM・MDM市場シェア

No.1 を獲得

※1 出典 : ミック経済研究所 2019年9月発刊、「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2019年度版」より
 ※2 出典 : 2016年11月発刊、「2016 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、2017年9月発刊、「2017 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、2018年10月発刊、「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (上巻)」、2019年10月発刊、「2019 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 (市場編)」より
 ※3 出典 : IDC Japan発刊、「国内システム/サービス管理ソフトウェア市場シェア、2018年 : SaaSとITオペレーション分析の本格化」 # JPY44569319より



2020年3月期 通期業績見通し



(連結経営成績 単位：百万円)

	2019年3月期 実績 (注)	2020年3月期 予想	前年比
売上高	5,468	6,563	—
営業利益	96	1~1,313	—
経常利益	145	1~1,313	—
純利益	11	0~814	—

(注) 2019年3月期実績は単体決算の実績です。

- 2020年3月期の業績は、創業来20期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上65.6億は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための活動を進めてまいります。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

〇〇×IT戦略に対する投資継続

更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

研究開発投資推移イメージ





第4次産業革命の中心的企业になる

OPTiM

www.optim.co.jp

OPTiM